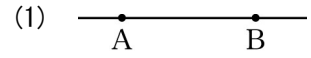


**めあて** 用語や記号を覚えよう。

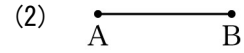


教科書P142～P149を読んで、をうめよう。

(1) 2点A, Bを通る直線を **直線AB** という。



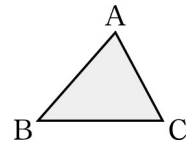
(2) 直線ABのうち, AからBまでの部分を **線分AB** という。



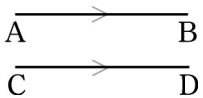
(3) 線分ABをBのほうへまっすぐにかぎりなくのばしたものを **半直線AB** という。



(4) 三角形ABCを, 記号 **△** を使って **△ABC** と書く。

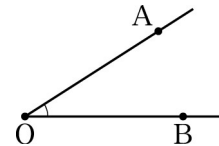


(5) 線分ABと線分CDの長さが等しいことを, **AB=CD** と書く。

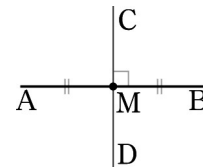


(6) 平行な2直線を **平行線** という。2直線AB, CDが平行であることを, 記号 **//** を使って **AB//CD** と書く。

(7) 1つの点Oから出る2つの半直線OA, OBによって角ができる。この角を記号 **∠** を使って **∠AOB** と書く。




(8) 2直線が垂直であるとき, 一方の直線を他方の直線の **垂線** という。線分ABと直線CDが垂直であることを, 記号 **⊥** を使って **AB⊥CD** と書く。



線分を2等分する点を, その線分の **中点** という。

線分の中点を通り, その線分に垂直な直線を, その線分の **垂直二等分線** という。

**めあて** 図形の移動を理解しよう。

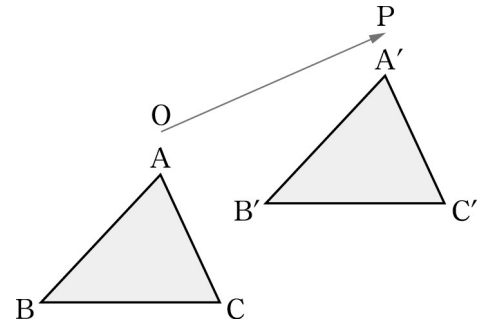
 教科書P142～P149を読んで、 をうめよう。

《平行移動とは…》

**図形を一定の方向に、一定の距離だけ動かす**

移動のこと

\* 点Aと点A'，点Bと点B'，点Cと点C'はそれぞれ対応する点であるという。



右の図で、対応する点を結んでみよう。

《平行移動では…》

対応する点を結ぶ線分は**平行**

で、

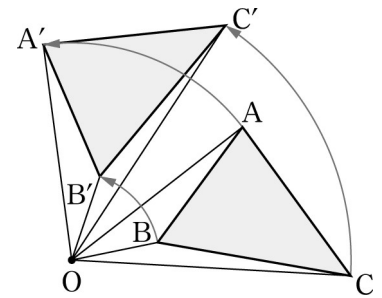
**その長さは等しい**

《回転移動とは…》

**図形を、ある点を中心として一定の角度だけ回転させる**

移動のこと

\* 中心とする点を **回転の中心** という。  
⇒右の図の点Oのこと。



線分や角の関係に注目してみよう。

$OA = OA'$  ,  $OB = OB'$  ,  $OC = OC'$

$\angle AOA' = \angle BOB' = \angle COC'$



《回転移動では…》

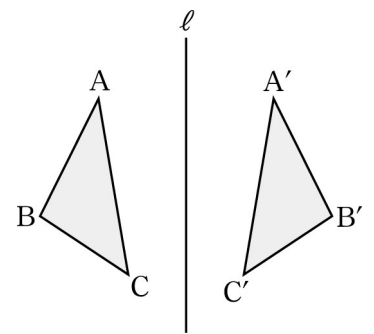
対応する点は **回転の中心から等しい距離にあり、**  
対応する点と回転の中心を結んでできる角の大きさは **すべて等しい**

《対称移動とは…》

**図形を、ある直線を折り目として折り返す**

移動のこと

\* 折り目の直線を **対称の軸** という。



右の図に、対応する頂点を結ぶ線分をかき入れよう。

$AA' \perp l$  ,  $BB' \perp l$  ,  $CC' \perp l$

$AA'$  ,  $BB'$  ,  $CC'$  は直線lによって垂直に二等分されている。



《対称移動では…》

対応する点を結ぶ線分は、  
**対称の軸によって、垂直に2等分される。**

**めあて** 作図の仕方を理解しよう。



教科書P151~P162の内容だよ。まずは  をうめよう。

○「作図」をするときの道具は、**定規** と **コンパス** だけを道具として使う。

○定規は **直線** をひくときに使う。

○コンパスは **円** をかくために使う他、**等しい長さ** をとったり、**線分** を移したりすることができる。

《垂線の作図》

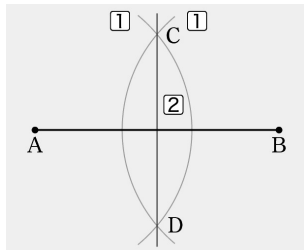
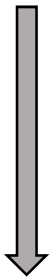


P154の例1, P155の例2の2パターンの方法があるよ!



直角や、垂直な直線をつくりたい時にかく。

《垂直二等分線の作図》

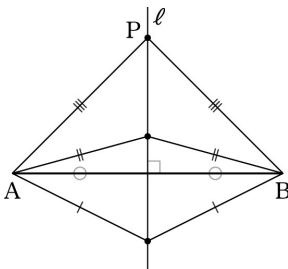


P157 問5

① 点A, Bを中心として等しい半径の円をかき, その交点をC, Dとする。

② 直線CDをひく。

「2つの点」と「点」の距離を等しくしたい時にかく。



線分ABの垂直二等分線 $l$ 上に点Pをとると,  $PA=PB$ となる。つまり, 「2点」A, Bと「点」Pとの距離が等しいと言えるね。

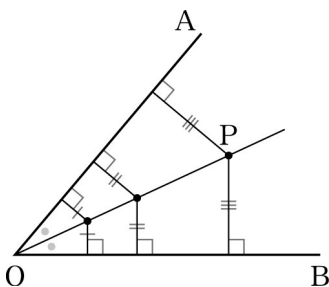
《角の二等分線の作図》



P159の例3を見てみよう!




「2つの辺」と「点」の距離を等しくしたい時にかく。

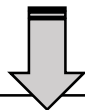
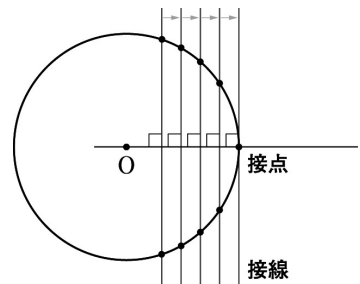


角の二等分線上の「点」から角の「2辺」までの距離は等しいね。

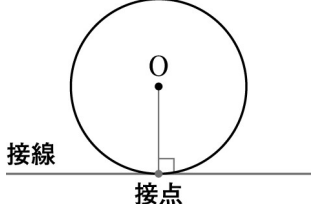
めあて 円の接線の作図ができるようになろう。

 教科書P161, P162の内容だよ。まずは  をうめよう。

○図のように、円の中心を通る直線に垂直な直線を平行移動させていくと、1点だけで円と出会う場合がある。このとき、この直線は円に **接する** といい、この直線を円の **接線**、円と直線が接する点を **接点** という。



**《円の接線は…》**  
接点を通る半径に **垂直** である。

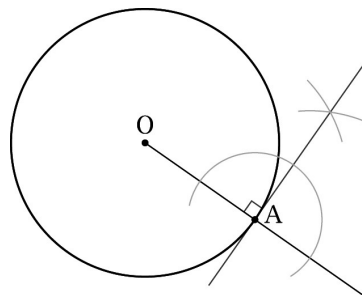


**《円の接線の作図》**

教科書P161の問1の解答だよ。



円の接線は、接点を通る半径に垂直であるから、点Aを通り、OAに垂直な直線をひけばよい。



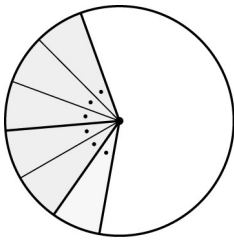
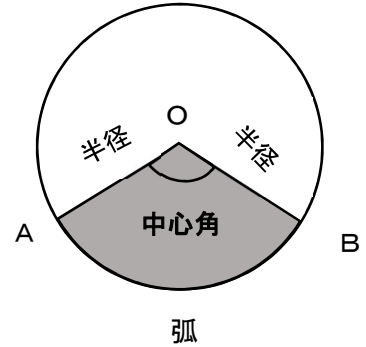
**めあて** おうぎ形の弧の長さや面積を求めよう。



教科書P165～P168の内容だよ。まずは  をうめよう。

《おうぎ形》

- **円** の一部である図形。(図の色がついた図形。)
- 2つの半径のつくる角を, **中心角** という。
- 1つの円で, 中心角の等しいおうぎ形の弧の長さや面積は **等しい** 。



左の図のように, おうぎ形の中心角を2倍, 3倍にすると, 弧の長さや面積も2倍, 3倍になる。



1つの円では,

おうぎ形の弧の長さは, 中心角に **比例する** 。  
 おうぎ形の面積は, 中心角に **比例する** 。

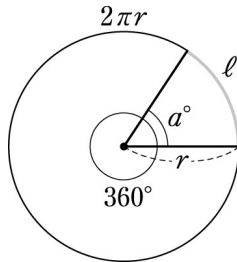
《おうぎ形の弧の長さや面積の求め方》

P167の例1をよく見てみよう!

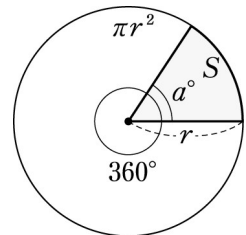


半径  $r$ , 中心角  $a^\circ$  のおうぎ形の弧の長さを  $\ell$ , 面積を  $S$  とすると,

$$\ell = 2\pi r \times \frac{a}{360}$$



$$S = \pi r^2 \times \frac{a}{360}$$



P167, P168の問題を解いてみよう!

**解答**

P167 たしかめ1 弧の長さ:  $\pi$  cm 面積:  $2\pi$  cm<sup>2</sup>

P168 問2 (1) 弧の長さ:  $4\pi$  cm 面積:  $20\pi$  cm<sup>2</sup>  
 (2) 弧の長さ:  $10\pi$  cm 面積:  $60\pi$  cm<sup>2</sup>

問3  $500\pi$  cm<sup>2</sup>

基本の問題 (1) 弧の長さ:  $3\pi$  cm 面積:  $9\pi$  cm<sup>2</sup>  
 (2) 弧の長さ:  $4\pi$  cm 面積:  $12\pi$  cm<sup>2</sup>  
 (3) 弧の長さ:  $10\pi$  cm 面積:  $30\pi$  cm<sup>2</sup>